

令和4年度西神吉小学校 学校評価

学校教育目標 「自ら学び続け、人や自然を大切にする心豊かな子の育成」
 ―自らを見つめ、共に支え合い、より良く伸びる西神吉っ子―

家庭や地域と連携・協力しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体という「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育み、人間性豊かな児童の育成に努めます。

そのために、児童が普段の学校生活や自然体験活動、社会体験活動を通して、自らを見つめ、共に生きる心を育もうとする態度を養うとともに、思考力・判断力・表現力の基礎を培います。

さらに、児童の主体的・協同的学習の充実を図りながら、ねばり強く最後までやりぬく実践「いのちと人権」を大切にする心情や態度を育てます。

重点指導項目	達成	成果と課題（自己評価）	改善の方策（自己評価）	関係者評価
① 確かな学力	B	○基礎基本の学力や学習規律が身についた。 ▲主体的な学び、読書習慣、表現力には課題がある。	○主体的・対話的で深い学びを充実する。 ○図書ボランティア・図書館と協力した読書活動を工夫する。	★本を読まない児童が多いのは残念。読書活動を充実させてほしい。
② 豊かな心	B	○道徳科授業時間の確保はできた。 ▲道徳的実践力、社会性、コミュニケーション能力に課題がある。	○地域と連携した体験活動を活用する ○思いやりの心を育てる体験活動、道徳科、人権教育を充実させる。	★創立120周年記念事業で地域、家庭とのつながりを強くしてほしい。
③ 健やかな体	A	○マスク手洗い等感染予防行動が身についた。 ▲偏食や怪我が多い子がいて運動外遊びの頻度に個人差がある。	○縄跳びなど全校で1年間取り組める体力づくりを実施する ○食育を含め、健康安全教育を充実させる。	★ほとんどの子どもが朝ごはんを食べてきている。外遊び、運動の習慣も身につけてほしい。
④ 安全安心な学校	B	○交通安全意識は高まった。 ▲困った時に教師に相談、家で話せない子がいる。 ▲いじめの早期発見早期対応の取り組みが伝わっていない。	○信頼関係に基づく生活指導、温かい学級づくりをする ○チーム教育を充実し SC・SSW との連携協力を強化する ○自尊感情を高め、命を大切にする教育を進める。	★困った時、相談できない子がいるのは心配。個別指導を効果的に活用してほしい。
⑤ 開かれた学校	B	○HP、学校だよりで積極的に情報発信した。 ▲コロナ禍で幼小中や地域との行事があまりできなかった。	○学校行事の工夫や情報発信を継続する ○地域やユニットと連携した行事を工夫する。	★子どもたち生き生き活動する教育を進めてほしい。